

溶接学会 若手会員の会

WELNET

若手会員の会 活動報告

HP アドレス <https://jweld.jp/support/wakate-welnet/>E-mail アドレス welnet@m1.circle.ne.jp

2025 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

委員長 山下 正太郎（大阪大学）

グローバルネットワーク活動担当 鴫田 駿（九州工業大学）

副委員長/全国大会イベント担当（兼）山本 啓（大阪大学）

全国大会イベント担当 浅山 智也（株式会社ダイヘン）

全国大会イベント担当 三輪 剛士（株式会社神戸製鋼所）

全国大会イベント担当 渡邊 一史（JFE スチール株式会社）

Report of WELNET evening forum at JWS national meeting in Spring 2025

by YAMASHITA Shotaro, TOKITA Shun, YAMAMOTO Hajime,

ASAYAMA Tomoya, MIWA Tsuyoshi, and WATANABE Kazufumi

溶接学会 2025 年度春季全国大会の 2 日目に「若手会員の会 イブニングフォーラム」が開催されました。以下にその概要について報告します。

■日時：2025 年 4 月 23 日（水）17:00-18:00

■場所：学術総合センター 第 2 会場（中会議場 2）

■フォーラムタイトル：

若手会員が考える溶接学会の将来像

～魅力溢れる溶接コミュニティを築くために～

■議題：

1. 皆さんにとって（溶接）学会とは？若手会員の会とは？
2. 溶接学会（若手会員の会）のあるべき姿とは？
3. 具体的なアクションについて

本フォーラムでは、大学や企業等に所属する若手会員のそれぞれの視点から、溶接学会の将来像についてパネルディスカッション形式で意見交換を行いました。討論において、溶接学会は学術・研究の交流の場であることはもとより、それぞれの背景は違えども個人もしくは会社の持つ“技術”をアピールする場としての側面が強いという共通認識がありました。また、溶接学会は他学会と比較しても異分野間の交流機会が非常に多く、講演時には予想外の角度からの視



図 1 イブニングフォーラム終了後の集合写真

点でヒントが得られる貴重な機会であるという意見に共感の声が集まりました。

懸念点として、大学・企業ともに溶接研究者・技術者数の減少について主に焦点が当てられ、外から新しく入ってきやすい、入った後も居続けたいと感じさせる学会の雰囲気（魅力）づくりが求められるとの意見が多く聞かれました。若手会員の会はその入り口としての役割を担い、研究会・施設見学会（研究合宿）や全国大会イベント等を充実させることで若手会員間での更なる交流を促進するとともに、これから溶接研究に携わる学生を積極的にその中へ巻き込んでいく姿勢も必要となってきます。近年の若手会員の会は、業務の多様化やコロナ禍等の時代の流れのなかでどこか堅

苦しい雰囲気になりつつもありましたが、肩肘張らず純粋に「楽しい」と思える仲間との繋がりこそが真に守るべきことであると再認識する機会となりました。

本フォーラムを通じて、参加者個々の秘めたる想いをひしひしと感じながら、若手会員として溶接学会をこれまで

以上に魅力的なコミュニティへと醸成していくためのポジティブな意見交換ができたと考えています。最後に、パネリストを快くお引き受けくださいました皆様、ならびに積極的にご発言いただきました多くの参加者の皆様に心より御礼申し上げます。